

小野田産業はどんな企業？

1945年に小野田製材として清水区に誕生。

「まことひとすじ」を社訓とし、地域密着にこだわりながら、お客様の夢をかたちに、自然と感性が共生する住まいを造る住宅会社。建築・不動産事業の他にもシェルター開発と販売など幅広く手がける。

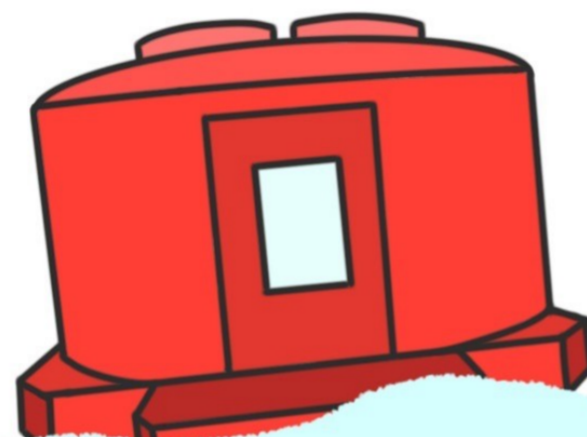
「災害で悲惨な思いをする人を1人でも少なくしたい」との思いから、防災にも力を入れている。

数々の賞を受賞していくつかの特許を取得、テレビ出演も多々。

SDGs の取り組み

静岡 SDGs 宣言をしているほか、エコアクション 21 を取得している。

主に5つのSDGsゴールに関連した取り組みをしている。中でも防災に関わる『シェルター』『断震システム』『パーフェクトハウス』の3点には特に力を入れており、これらは9番と11番のゴールに繋がっている。



私たちがインタビューしました

荒深 真輝帆
加藤 滉成
佐藤 のんの
佐藤 由依
佐野 桃香



静岡県立大学 × しずおか焼津信用金庫

令和3年度 SDGs 学生インタビュー企画



株式会社 **小野田産業**
designers house project

× SDGs 



SAM(Shelter & Adventure Machine)

SAMとは…水害から「命」を守るために開発された、発泡スチロールのシェルター。洪水や津波の発生時にSAMに避難することで身を守ることができる。発泡スチロールは98%が空気であるため浮力が大きく、激流でも沈まない。表面にはポリウレタという衝撃に強いコーティング材が塗られており、発泡スチロールの持つクッション性もあるため緩衝性にも優れている。

Q. どのような方に購入してほしいですか？

A. 沿岸部に住んでいるお年寄りなどの災害弱者の中には、高台や避難所への移動が困難な人がいます。しかしシェルターがあれば、逃げ遅れた時の最後の手段になり、助かる確率が上がります。



またSAMは他の災害時の避難場所としても活用可能。完全なプライベート空間を保てるため、女性や小さな子供、避難所に連れて行けないペットの避難場所にもなる。

Q. 他にこだわった点はありますか？

A. 従来のシェルターは緊急時以外使えません。そこでSAMは日常でも使えるように作りました。照明・コンセント・換気扇などの設備が整っているため、趣味・勉強部屋、子供の遊び場として活用できます。



しずおか焼津信用金庫キャラクター「たねココ」

エアー断震システム

エアー断震システムとは…地震発生時に空気の利用して建物全体を浮かし、揺れを建物に伝えにくくするシステム。



コップ一つ倒れず、昼寝中の猫も起きないほど揺れを抑えられる。東日本大震災でも被害なしの実績！命を守れるだけでなく、

- ・建物自体への損害がほとんどなく、なんと地震が起きても住宅が傷みにくく強度が維持される
- ・建物が倒壊せず避難所に行く必要がなくなる→避難所に割く人員が減り、ライフラインの復旧に労力をまわせるなどのメリットもある。

安心・安全な生活を確保した「豊かな暮らし」の実現

背景にはこんなエピソードが
テレビでこのシステムを知った社長が興味をもち、放送の二日後には社員4名を開発元の茨城へ視察に行かせ、その報告を受けて、「ぜひ取り入れたい」とすぐに契約をしたそう。費用が高いという難点から当初はなかなか普及しなかったものの、東日本大震災をきっかけに増加した。

Perfect House Project

Perfect Houseとは…被災者を出さない家

- ・優れたメンテナンス性
- ・エアー断震システム搭載
- ・ライフライン復旧まで自立した生活ができるシステムを構築
- ・地震後も安全な生活ができる

- ・下水道対策
- ・給水対策
- ・地盤の液状化対策
- ・非常用電源の確保

2016年ジャパン・レジリエンス・アワード
最優秀レジリエンス賞受賞！かつ特許も取得！

Q. 一番難しかったのは何ですか？

A. トイレ対策です。仮設トイレは臭いや衛生面の問題があるので、水洗トイレを使用できるように浄化槽を設置しました。平常時は雨水タンクとして利用できます。



その他のSDGs関連の取り組み

- ・faxを紙でプリントアウトせずにPDFデータ化して受信することでペーパーレス化
- ・エコを意識した素材を利用している(再生可能なもの)
- ・年に一度フリーマーケットを開催し、売り上げの一部を県立こども病院に寄付している
- ・65歳以上の継続雇用や有給取得率の向上
- ・年に一度ボランティアに参加
など、積極的に取り組んでいる。